

平成30年9月定例会 一般質問発言通告一覧

平成30年10月1日

【一般質問】

平成30年10月1日（月）午前9時30分から（発言者5人）		
順	質問者	質問事項
1	村上宣弘 (新政会)	<p>防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 西日本7月豪雨について <ul style="list-style-type: none"> ・ 本年7月豪雨、本市の被害状況は ・ ハザードマップとの関連性は ・ 災害に対する備えはどうであったか ・ 今後の防災計画の見直しはあるのか ○ 防災における森林の役割について <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林崩壊はどうであったか ・ 原因究明はどうか ・ 現在の森林に防災機能はあるのか ・ 今後、同様の災害が起こる可能性は高いと思われるが、森林整備等による災害抑制が有効な手段と考えるがどうか
2	梅原哲史 (創政会)	<p>選挙</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 投票率向上の取組について <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年綾部市議会議員一般選挙の状況は ・ 期日前投票所をさらに増設すべきでは <p>防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 旧町内における避難体制について <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災行政無線の放送内容がわからない ・ 避難対象者数と指定避難所の収容数と大きな差がある ・ 避難所前に赤色灯の設置を ・ 避難時は水の持参が困難であり、避難所で準備すべきではないか ○ 旧町内指定避難所の運営について <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会組織との連携をさらに深めて、共助体制の整備をもっと具体的にすべきではないか
3	安藤和明 (民政会)	<p>企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自治体戦略2040構想研究会報告を受け、北部地域連携都市圏の連携の加速化・深化を <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都府北部連携都市圏の取組経過と今日の状況・到達点 ・ 厳しい綾部市の行財政の現状を踏まえ、2040年に向けた綾部市のまちづくりや行財政運営は ・ 自治体間の広域連携をさらに深め、都市間の利害を調整し行政の役割分担など北部地域連携都市圏をさらに深化させる考えは ・ 2040年を見通して地縁組織をどう強化するか、今後の「公」「共」「私」の関係の再構築について

		<p>学校教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力調査結果に見る「綾部教育の奇跡」と小中一貫教育の成果は <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成19年からの学校教育の取組の経過 ・ 平成30年度の全国学力学習状況調査の結果について ・ 学力調査の波及効果や小中一貫教育の成果は ・ 綾部高校のさらなる強化で学力をさらに生かす進路保障を <p>図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新図書館建設計画の現状と今後について <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の図書館の入館者数等の推移は ・ 綾部駅北側での建設計画の目的は ・ 日本図書館協会の見解と学習室設置について ・ 新図書館検討委員会の検討状況や今後の計画は ・ 概算事業費やランニングコストなど具体的計画は
4	中島 祐子 (日本共産党)	<p>教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市民だれもが使いやすく、安全な新図書館の整備を <ul style="list-style-type: none"> ・ 検討委員会の検討状況および今後の見通しは ・ 障がい者や高齢者、遠隔地住民等へのサービスの充実は ・ 子どもたちが使いやすい環境の整備を ・ 市民の声を反映し、安全で、綾部市らしさを活かした整備を <p>防災・社会福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大規模停電に備えた対策を <ul style="list-style-type: none"> ・ 発電機等の備えの状況は ○ 要配慮者や子育て世代も行きやすい避難所の整備を <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉避難所の設置と対象人数や利用状況は ・ 一般の避難所での福祉コーナーの設置状況や洋式トイレ、障がい者用トイレの整備の進捗は ・ 乳幼児のいる世帯でも利用しやすい環境の整備を <p>森林整備・林業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「新たな森林管理システム」への対応に向けた体制整備を <ul style="list-style-type: none"> ・ 綾部市の森林・林業行政の体制整備の経過は ・ 「新たな森林管理システム」施行に向けた体制整備の状況は ・ 地域の森林に精通した専門員の配置を

5	井田 佳代子 (日本共産党)	<p>開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設設置を目的に行われる小規模な山林開発にも指導を <ul style="list-style-type: none"> ・ 山林伐採により新設されている施設で起きるトラブルは指導後改善されたのか ・ 設置されたものが崩れる、発電期間を終えた後はどうなるのか懸念される。設置者に最後まで管理責任を求めるためにも早急な対策が必要ではないか <p>医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 債権回収委託弁護士から請求された市立病院の支払い済み医療費について <ul style="list-style-type: none"> ・ 債権回収委託弁護士から今回の督促が行われるまでの経過は ・ 病院の未収金回収の仕組みはどうなっているのか ・ 横浜の法律事務所に委託されているが、民事訴訟でできないのか ・ 再発防止策は ○ 中学生までの特定療養費の廃止を <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定療養費合計から考えると子供はいくらを想定するのか ・ 500床までの特定療養費は徴収しなければならないものではなく、任意となっている。子どもについては廃止するべきではないか
---	-------------------	---

【一般質問】

平成30年10月2日（火）午前9時30分から（発言者5人）		
順	質 問 者	質 問 事 項
6	吉 崎 久 （日本共産党）	<p>防災対策（7月豪雨、台風災害）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市道高津旭線土砂崩落 <ul style="list-style-type: none"> ・ 同一箇所での2度目の発災をどう見るか ・ 地盤伸縮計の設置の期間は ・ 前回の崩落から予測ができたのでは ・ 被災家屋への対応は ○ 私市森本川の改修を <ul style="list-style-type: none"> ・ 円山古墳の土砂災害も2度目、原因は ・ 高速道の車線拡幅工事による排水処理は ○ 都市下水の整備の現状は <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市下水の現状は降雨量との関係で適切か ・ 住宅建設が進む中筋地域で「遊水地」が減少。それに見合った都市下水の整備を急ぐべきでは ○ 中筋小体育館の雨漏り改修は <ul style="list-style-type: none"> ・ 当初予算で計上されたが未実施、先送りする判断基準は。避難所・学校施設の面から応急対策が必要では <p>社会保障</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活保護基準の引き下げ（10月実施） <ul style="list-style-type: none"> ・ 実態と引き下げによる影響は ・ 就学援助への影響は ○ 障がい者の水夢利用料減免制度の創設を <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体機能維持・発達促進効果からみて有効では ・ 医療機関との連携を ○ 放課後学級未実施校への計画推進を <ul style="list-style-type: none"> ・ 未実施校でのニーズ調査は ・ 地域の実態に応じた開所を ・ 未実施校での自主開所への支援策は
7	片 岡 英 晃 （民政会）	<p>商工教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 未来の技術者確保に向けた取組について <ul style="list-style-type: none"> ・ 本市として、人口の社会減に歯止めを打つための取組の状況は ・ 小中学生がものづくりを体験し、興味を深めるような取組は ・ 民間との連携で綾部スタイルのキャリア教育の確立を <p>防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害ボランティアセンターの総括及び今後について <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害ボランティアセンターの現時点での総括は ・ ボランティアに参加いただいた皆さんから今後のために意見を聞いてみては ・ 作業現場でのリーダーをしっかりと養成していく必要があるのでは ・ より作業を効率的に進めるためにも作業資材確保に工夫を

		<p>福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 誰もが住み続けられる地域づくりについて <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケアシステムの構築に向けての現状は ・ 地域包括支援センターが果たす役割、また、現在の取組状況は ・ 本市が目指す、誰もが住み続けられる地域づくりとは
8	本 田 文 夫 (民政会)	<p>防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 消防西部分駐所の設置について <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化が急速に進む遠隔地への迅速な救急対応を <p>定住</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Iターン、Uターンの住宅確保について <ul style="list-style-type: none"> ・ Iターン、Uターンの現状と課題は ・ 農地の迅速な宅地化を <p>道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 安全な通学路の確保について <ul style="list-style-type: none"> ・ 通学路の拡幅及び歩道の設置を ・ 通学路の除雪について、今後の対策は <p>教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ施設の確保について <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ少年団・生涯スポーツの推進を ・ スポーツ施設の適正利用について
9	塩 見 麻理子 (心友会)	<p>共助社会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 行政サービス（公助）の限界（防災の観点から）と協働意識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市長3期目突入で、「予見できなかった大きな災害」による厳しい市政運営に対するご所見と、「オール綾部」に対する熱い想いは ・ 「自助」「共助」「公助」の連携と協働で命を守る意識づけ ○ 共助の強化策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域自治会の現状（連合会・自治会・組・役員・加入率など）と課題と今後についてのお考えは ○ 自治会（地縁型組織）の課題解決策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の教訓をきっかけに市行政が積極的に自治会組織（自治会加入促進検討会（川西市の事例）など）に関与する必要性を検討すべきでは ○ 「協働」について <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民協働課（ボラセン）の現状と本来の役割と今後（ひと・場所）について ・ 「官」「民」協働の課題解決型プログラムの模索や（アダプトプログラム・協働コンパクト・地域ペアリング制度（カウンターパート）など）のツールの政策研究・検討を <p>行政体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「連携」について <ul style="list-style-type: none"> ・ まずは、庁内の協働・連携体制の整備とチームあやべのモチベーション（やる気）向上策（エンゲージメントなど）が必要だが、来年度に向けた機構改革や方策などのお考えは

10	柳 原 秀 一 (創政会)	<p>防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水害対策について <ul style="list-style-type: none"> ・ ハザードマップの周知は ・ 避難所の見直しは ・ 犀川の越水対策は ・ 避難所の自家発電機の状況は ○ 土砂災害対策について <ul style="list-style-type: none"> ・ 土砂災害防止法が制定されたきっかけは ・ 『土砂災害警戒区域』と『土砂災害特別警戒区域』との違いは ・ 京都府の土砂災害警戒区域等の基礎調査及び指定状況は ・ 再度市民に周知は ○ 災害ボランティアについて <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアセンター開設時の行政機関との連携は ・ 今回のボランティアセンターの運営は ・ 災害ボランティア運営スタッフの育成を検討しているのか ・ ボランティア活動に参加した中学生の状況、感想は <p>商工</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 産業まつりについて <ul style="list-style-type: none"> ・ あやべ産業まつりの中止決定の経緯は ・ 来年度以降の開催に向けた検討は <p>教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グローバル人材の育成について <ul style="list-style-type: none"> ・ イングリッシュキャンプの概要と本年度事業の総括は ・ 「飛び立て！中学生海外派遣事業」の概要と本年度事業の総括は
----	------------------	--

【一般質問】

平成30年10月3日（水）午前9時30分から（発言者6人）		
順	質問者	質問事項
11	種 清 喜 之 (民政会)	<p>防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 異常気象新時代への対応を <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年7月豪雨災害の見解は ・ 実効性ある避難対策の検討を ・ 災害時の道路情報の見える化でライフラインの確保を ・ 農林被害への対応について ・ 災害の抜本的対策強化を <p>まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ シェアリングエコノミーを活用し「大家族のまち綾部」へ <ul style="list-style-type: none"> ・ 本市の子育て支援の特色は ・ ファミリー・サポート・センター事業の現状は ・ シェアエコの活用で遊休資産を共有できる仕組みを構築し、子育て等の日常生活を支えあえるまちづくりを
12	渡 辺 弘 造 (創政会)	<p>市政</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人口減少問題について <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少の解消と増加に対する市長の思いを聞きたい <p>農林業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農林業振興について <ul style="list-style-type: none"> ・ 若者が職業として農業を選択するためには、またその対策は ・ 災害復旧について ・ 山林荒廃の対策は <p>定住促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 定住促進について <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の実績は ○ コミナスの検証 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域おこし協力隊として任期の半分が経過するが市としての検証は
13	酒 井 裕 史 (民政会)	<p>防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 7月豪雨災害について <ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ小・中学校が避難所に指定されなかったのか ・ 避難者の入浴対応について ・ 通行止め箇所の情報伝達をメール等で行えないか <p>市政</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ふるさと納税について <ul style="list-style-type: none"> ・ 綾部市のふるさと納税と返礼品について ・ あやべ特別市民制度との違いがわかりにくいと聞くが

		<p>観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光客の呼び込みについて <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光地カードを発行してはどうか
14	<p>搦頭 久美子 (日本共産党)</p>	<p>介護保険</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護サービス利用料の軽減策を <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護サービス利用者の所得とサービス利用の実態 ・ 利用料の軽減策導入を <p>在宅医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 電源を必要とする在宅療養者に災害時の家庭用発電機設置を <ul style="list-style-type: none"> ・ 常に電源を必要とする在宅療養者の把握、関係機関との連携はどうか ・ 「在宅療養等支援用具」の項目に家庭用発電機の追加を <p>保育・幼児教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 幼児教育無償化の方向と課題は <ul style="list-style-type: none"> ・ 無償化で生み出される財源を保育の充実に <p>災害</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 犀川（物部町）越水を防ぐ緊急対策を <ul style="list-style-type: none"> ・ 堤防越水の原因は ・ 災害を繰り返さない対策を
15	<p>藤岡 康治 (民政会)</p>	<p>福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 元気な高齢者が活躍する社会について <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護給付費の過去からの推移は ・ 増加の場合その要因は ・ 元気な高齢者が活躍できる場や集いの場を拡大する予定は ・ 免許を返納した元気な高齢者を移送できるシステムの構築は <p>定住</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 桜が丘団地の定住促進について <ul style="list-style-type: none"> ・ 桜が丘団地が販売開始されて約20年（18年）経過するが、販売できていない空地の活用法は ・ 現在の管理方法は ・ 空地の駐車場の変更や設置は ・ 空地を畑にレンタルするという構想は

16	荒木敏文 (創政会)	<p>地域振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住み続けられるまちづくりのために継続性のある総合計画を <ul style="list-style-type: none"> ・ 固定観念の打破はできたか ・ 地域づくり健康診断結果について ・ 将来を見据えた独創性と継続性のある総合計画を ○ 地域振興のためには市民力・市民の自主性を積極的に活用することが必要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域クラスター戦略の充実を <p>安全・安心</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害多発時代の安全・安心対策のあり方について <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害復旧事業完了の目途はいつになるのか ・ 地域クラスター戦略に欠かせないライフラインの道路の強靱化を ・ 避難所のあり方 ・ 消防団出動のあり方 ・ 消防の広域化が必要
----	---------------	---